

どんな指導者になろうか？

かわど 「川人的・私の生き方暮らし方」

川に学ぶ体験活動をどのように作っていかうか、もっと楽しく、もっと上手な運営方法はないか？ あなたが抱えている課題、こまっていること、また夢見ていることなどをお持ちください。今回のフォーラムの力点は、指導力と経営力に置き、指導者としてそして経営者として、どちらのあなたでもご参加いただけるようにしました。

各テーマのファシリテータは、みんなで考え、議論し、最適な答えを求める作業手法ワークショップ形式で運営し、みなさんの「川に学ぶ自然体験活動」がよりみのに多くなるようお手伝いいたします。

会場は、「多摩川源流絵図」の製作で一躍脚光を浴び、全国源流ネットワークの発祥地となった山梨県小菅村を会場に選びました。そこでエクスカージョンと夜なべトークを設けてキーワード「源流」を取り上げます。川の自然と暮らし・文化の源である源流域について理解を深めるまたとない機会ですのでご期待ください。

□日 時： 2005年3月4（金）、5日（土）、6日（日）

4・5日とも集合時間 13:30・6日終了時間 15:00

□場 所： 山梨県 北都留郡 小菅村

□参加費： ・フォーラム 8,000円 ・エクスカージョン 5,000円

※含まれるもの： 宿泊費・食費・会場費・奥多摩駅からの送迎代・資料代・保険

□締め切： 2月14日月曜日

□対 象： RAC 指導者、CONE 指導者・川の自然体験活動の指導に興味がある方

□主 催： RAC「川に学ぶ体験活動協議会」／「RAC フォーラム実行委員会」

◇協 力： 小菅村・多摩川源流研究所

◇後 援： 国土交通省・文部科学省・環境省・（財）河川環境管理財団

・NPO法人自然体験活動推進協議会・（社）日本環境教育フォーラム

<申し込み・問い合わせ>

RAC 川に学ぶ体験第3回「RAC フォーラム」実行委員会事

担当 長谷川・大井

〒104-0042 東京都中央区入船 1-9-12-2F

TEL03-3297-2608 FAX 03-3297-2609

<http://www.rac.gr.jp/>

4日 13:30～21:00

エクスカージョン 「源流域の自然と暮らし・文化」

ブナ・ミズナラの森は地が肥えていて、降水をたくさん溜め込むことから天然のダムといわれています。源流の最初の一滴を生み出す森とはどんな森だろう。奥多摩駅を出発しバスと軽いトレッキングにより水源の森を訪ねます。小菅村に帰ってからは、森の恵を暮らしの中に探す体験プログラム、夜まで源流一色です。温泉タイムあり。

(荒天の場合:水源の森への散策に代え、暮らしを通じて源流域の風土に出会うプログラムに変更)

源流の自然と暮らし・文化案内人 中村文明・中川 徹 (多摩川源流研究所)

5日(午後)13:30

開会の言葉・ウエルカムスピーチ・オリエンテーション

14:30～17:00

ワークショップ「川人的私の生き方暮らし方1」

A 悪天候時のプログラム 和田信治 (NPO 法人白馬国際自然大学校)

まったくつながりのない雨プログラムは最低、そんなときはこんなメニューがあります。

B 飯がくえるリーダー像 佐藤初雄 (NPO 法人国際自然大学校)

もっと実力をつけ、ずっとこの仕事を続けたい、胸張って謝礼をもらえるリーダー像とは？

C 活動プログラムのバリエーション 渡辺峰生 ((社) 日本ネイチャーゲーム協会)

プログラムバリエーションを広げる？いったいどんな視点があると良いのでしょうか。

D 流域スケールで活動を考える 内村政彦 (NPO 法人川塾「北九州」)

話題提供 竹村公太郎

河川を1本の線ではなく、流域という面で考えてみる。そこに新たな活動が見えてくる。

(夜)20:00～22:00

「夜なベトーク」4つの部屋

またとない機会です、源流という場所を深めるとともに、源流からみなさんの活動場所へとつなげる、フリーディスカッションの時間です。達人や博士がお持ちしています。

- ・「源流の語り部」の部屋 中村文明（源流研究者）
源流奥深く分け入り「源流地図」を作ることで、源流文化を掘り起す源流研究者。
- ・「源流の村・食と暮らし」の部屋 木俣美樹男（東京学芸大教授・民族植物学）
源流の村で植物を通して、伝統的な暮らしをフィールドワークする食と薬の博士。
- ・「源流の森の仙人」の部屋 小菅村の方々（林業家）
源流では森と川は一体だ、その森で暮し仕事する人たちが「源流」の自然と暮らしを語る。
- ・「源流の森から流域へ」の部屋 竹村公太郎（リバーフロント整備センター理事長）
治水・利水の半生、そこから見えてくる源流とは流域とは。山上から流域を俯瞰します。

6日(午前)9:00～11:30

ワークショップ「川人的私の生き方暮らし方2」

E 伝える技術／インタープリテーション 森美文 森環境教育事務所
伝えることは本当に難しいこと？見えないものをいかに伝えるか、インプリの神髄を探る。

F 川の活動のリスクとメリット 長谷川孝一 ama 水辺の自然文化研究所
あなたの活動、この際リスクとメリットを秤にかけ、活動の意味を深く掘り下げてみよう。

G 競合とシェアの拡大 馬渡達也 くりこま高原自然学校
お隣のNPOとのストレスありませんか？互いに活かし合える環境作り考えましょう。

H RACの未来像「10年計画」づくり 土井裕子 五ヶ瀬川流域ネットワーク
ようやく歩き始めたRAC。貴方だったらどんな団体にしますか？RAC10年計画募集。

(午後)13:00～15:00

全体ふりかえり

- ・ 各ワークショップ報告と感想
- ・ 挨拶：経験の共有とRAC指導者のこれから